

平成26年度

創立35年



安積三小 学校だより

三しょうの丘 No. 9

(承認 賞賛 奨励)

平成26年12月 9日

安積第三小学校

あやまちは 誰でもする
つよい人も 弱い人も
えらい人も おろかな人も
あやまちは 人間をきめない
あやまちは 人間をきめる
あやまちは 重さを
自分の肩に背負うか
あやまちは ながれて
次のあやまちは おかすか
あやまちは 人生をきめない
あやまちは 人生をきめる
まさに そのとおりだ
「あやまちは 人生をきめない
あやまちは 人生をきめる」
心に刻んでおこうじゃないか

独自の存在である子ども

朝、校門やあさか台の十字路で子ども達を迎える時の子ども達の内面をのぞいてみると、いつも喜び勇んで登校してくる子がいます。今日は、苦手な教科があるのか少し緊張している子がいます。友達に会うのが楽しみなのか、あるいは、給食のメニューを想像してかニコニコしている子がいます。母親に叱られたのか、考え込んでいる子がいます。一人一人を見つめると、まったく異なっているのです。

異なる内面を抱えているのには、それなりに思う理由や過程があるからです。それをもし覗くことができるとしたら、呼吸の仕方や細胞の動きまで異なっているのではないかと思います。これも一人一人が独自の存在として生きているからなのです。

「いま」も、一人一人が過去から未来に向かって生き続けている過程の一瞬なのです。ですから「いま」は、再び繰り返されることはありません。この「いま」の持つ意義を一人一人の子どもの立場にたって大切にしていかなければならないのだと思います。大切にというのは、その子にとっての「いま」の中に含まれているその子の実態や発達の筋道をふまえて、ていねいにかかわっていくことなのです。

子どもは、どの子も将来どの方向にどれだけ伸びていくかわからない可能性を秘めており、成長・発達していく過程の存在です。ですから、人格や存在そのものを決めつけるような見方や関わり方をしてはならないと思います。子どもの内面の奥までも共感的に理解しようと努力することによって、子どもを肯定的に見ることができ、一人一人の子どもを生かす場やチャンスが生まれてくるのだと思います。



本校ホームページ

「安積三小」で検索しますとすぐアクセスできます！

本校のめざすホームページは、毎日情報を更新するなど情報を積極的に発信し、学校経営の意図や日々の学校の様子や子ども達の活躍を地域の方や保護者のみなさんに伝えることです。そして、学校の教育活動に関心を持っていただき、積極的に学校の教育活動に参加・協力していただく中で、安積三小の子ども達を守り育てる健全な地域社会の実現へとつなげていければと考えています。今後も継続して充実したホームページづくりに取り組んでいきますので、ぜひホームページをご覧ください幸いです。

